

空耳アワー対談 (Soramimi.Net) 「●太文字:空耳アワー研究所長:川原田」「通常文字:高橋力さん」

● 本日は対談宜しくお願いいたします。早速ですが空耳アワーへ投稿されるきっかけなど何かありますか？

『タモリ倶楽部』は昔から好きな番組でしたし、空耳も名作といわれるものをリアルタイムで比較的好く見てたらいんですが、あくまで見るのが好きで、自分が投稿しようとは思わなかったんです。でも2時間SPで放送された『空耳アワード 2001』を見たのがキッカケでしょうか。あれを見て笑ってるうちに「ひょっとしたら自分も探したらあるかな？」という感じがして、ちょうどそのころ買った映画のサントラから空耳を見つけて、そのまま応募しました。この作品が運良く採用になったんですが、同じ週に名作の「何点？満点！一応 13 点」があったこともあり、それに触発されて本格的に送るようになった、という感じなんです。

● 高橋さんの投稿への心がけについて教えてください。

基本的に、空耳投稿への姿勢として「空耳探し」をしてまで音楽を聴くことを是としない意見は少なくないように思います。私も偶然見つけることが「理想」だとは思っていますが、“投稿によって成り立っているコーナー”という性格上いわゆる「空耳探し」を否定してしまうことはコーナーの存在否定や存続難にもつながりかねないように思えます。そもそも探してそう聴こえるものを発見するのともたまたま見つけるのとも「偶然的産物」であることに違いはありませんし、見る側が「面白いものを聴きたい」と思う以上探す側「面白いものを探したい」という欲が出るのは当然のことなので、私の場合、探しながら見つけるという投稿スタンスで今後も投稿を続けていこうと考えています。(続けられる限りは) (^_^;しかし単に聴きまくるということではなく、各アーティストへの敬意と楽曲に思い入れを持つことは投稿にとっても肝要なことだと思います。私は元々音楽をよく聴くほうですが、まずは曲を聴くことを楽しみ、無理なく投稿に反映させていくことが空耳の投稿を続ける基本と言えるかもしれません。また、自分の作品の採用ばかりでなくほかの空耳作品も楽しむことで“コーナーに参加する”という意識で投稿することも続けていくうえでポイントになるかと思います。※毎回自分が採用されるわけではないですから(笑)。精神衛生上からも そういった余裕がないと続けるのは厳しいです。私の場合は比較的自分が好きな分野(80年代等)から投稿してるので、投稿する各アーティスト・楽曲はそれなりに思い入れがあるものが多いです。(マニアックなアーティスト談義ができるほどの知識となると微妙ですが)そういったスタイルなので“最近よく採用されてるほかのジャンル(アーティスト)”に空耳目当てでシフトする投稿はあまりしないのですが、したとしてもなかなか成功はしないように思うので個人的にはそういう狙いはあまりお勧めできないかと。※過去に來日が近いアーティストなどを狙って投稿したことはあったのですが、採用された例がほぼなかったの…難しいですね。(^^;要は「風見鶏」はあまり良くない、ということでしょうか。(笑)

● やっぱ、自分の好きなジャンルで音楽を楽しみながら+αの楽しみを発見するというスタンスの方が気持ちいいですからね。しかし大好きな曲に「一度そう聞こえたらそれにしか聞こえない」という副作用が出るリスクがありますけどね(笑)では、空耳を探するときのコツなどがあれば教えてください。

探すときの意識としてはかつて『空耳アワード 2004』で「日本人が歌ってると思い込んで聴く」と話しましたが、面白いかとか使えるかというレヴェルは別としてどんな曲にも多少は日本語(またはそういう発音)らしく聴こえる部分はあると思うのでそれを逃さない心構えは大事かと思います。

● なるほど。なんだかハナモゲラ語の解説作業みたいですね。

聴いているときは空耳が聴こえ次第軽くメモを執り、後々に書き溜めたそのメモを見て聴き直し「使えるか使えないか」を決めるというやり方でやっています。聴こえる部分の前後にも注意をしながら聴くようにすると、文章化に成功(「意味不明化」というほうが正しい?)したり当初より良くなることは多いです。また、言葉を微妙に変えたり同音異義語を探す等をしていくらかでも面白くならないか?とあがくこともよくします(笑。)というわけで正直、即「そう聴こえた!」というは少ないです。ハガキに起こすのはそういった過程を経てからということになります。

● ちなみに私は、同じ空耳採用曲のライブ盤ではどう聞こえるか? Remix はどうか? 他のアーティストのカバーでも聞こえるのか? 等も興味があって聴いたり買ったりして楽しんでます。

ほかのヴァージョンまで探すあたり、さすがCDの所蔵数がハンパでない所長さんらしいですね。(笑)なにか発見もありそうですし、うらやましいです。

● いやあ、伊藤研究員の CD 所蔵枚数と比べたら1/10くらいですけどね。また質問ですが、投稿件数はどのくらいでしょうか？

投稿数については「1年で365作」を一応の目標にしています。

● ハガキ代 365枚×50円=18,250円/年! 番組から100枚プレゼントされましたが足りませんね(笑)

ここから「一日一空耳」という言葉があるわけですが、近年は年300オーバーが精々なのでその目標までは送れていないのが現状です。当然ノルマでもないの、あくまで「努力目標」という程度なのですが、一応そのくらい送ればある程度の結果は出るだろうという自己満足からそう設定しています。個人的な感想としては、以前ラジオや雑誌でハガキ職人をしてたせいか「年に400枚送る」ということに驚かれたことに逆にこちらが驚きました。(笑)

● おお! また偶然ですが私もハガキ職人時代がありまして、オールナイトニッポン等に入入りしてました。この共通点の多さは奇遇というよりちょっと気味悪いですね(笑)ちなみにどのような番組に投稿していましたか? 差しつかえなければ教えてください。

地方曲のFMやテレビ神奈川の音楽番組、有名などころではニッポン放送の『ラジオ・ビバリー屋ズ』くらいなんで、ハガキ職人が狙わないところを狙うハガキ職人でした(笑)。あと、『ジャンプ放送局』は何回か上位に入りました。でも…あの賞品も「カンパジ」で…すごい安っぽかったですね(^^;

● ジャンプは友達を読み終えた後『ジャンプ放送局』だけ読んでました(笑)

※空耳アワーは投稿のコーナーなのだから、これくらい(あるいはそれ以上)送ってる人は他にいくらでもいるだろう、と思っていました。たとえ空耳がごんごん見つかっても書いたハガキはすぐには送らずストックし、週に5~7枚くらいのペースで、“絶えず”投稿する感じにしています。…特に意味はないのですがドカッと大量に送るよりは絶えずネタが来るほうが製作者側はありがたいのではないかと。という勝手な推測からです。

● 細かい気配りを見習わなくては…。

(裏面に続く)

余談ですが、『空耳アワード 2004』では放送されなかった裏事情のようなものがあります。私の洋楽のCD所有枚数は20枚程度でほとんどをレンタルで聴いているという内容がありました。それそのものは事実です。※今はもう少し増えてますが(^_^);ただ、その数年前に火災で自宅が全焼したので火災以前は洋楽好きだった兄のものと合わせて洋楽アルバムは300~400枚程度(レコードも含む)は所有していました。レンタル中心になったのは一気に全部失ったというショックもあって“一度持っていたものをまた買う”という意識になれなかったことが大きいです。しかし、「火事」というバラエティに似つかわしくない内容からなのかあるいは配慮してくださったことなのかはわかりませんが、オンエアでそのことには触れてなかったので、それによって見る側に誤解が生じてしまったことは仕方のないことだと思っています。

● あらら、それは悲しい出来事ですわね。

いえいえ、火災のおかげで今の投稿生活もあるわけですし…、ポジティブに考えるようにしています。ちなみに放送直後は、某巨大掲示板で叩かれるだけでなく(笑)どこで調べたのかイタズラ電話や無言電話がけっこう続き、深夜のピンポンダッシュまでされたりとある意味反響の大きさに驚きました。(^^;当然ある程度の悪影響は見越していましたが※でも電話やピンポンダッシュは想定外…それでも取材をお受けしたのは大好きな『タモリ倶楽部』から「ぜひ」と言われればもう「断る」という選択肢はなかったからにほかなりません。いろいろ大変ではありましたが、それらも含めていい経験になりました。番組内で今もたまに私のことを話していただいたりネタにしてもらってますが(笑)そうやって目をかけてくださることは投稿者冥利に尽きるというか…とてもありがたく感じています。この機会にこういう事もお話しできて良かったです。

● 確かに視聴者にインタビューすることってあまりないですからねえ(笑)それでは掲示板等で質問の多い「投稿ハガキにどのようなことを書けばよいか？」等をお聞かせください。

宛名・内容ともに手書きにしています。印刷の字では何かの作業のようなので、手間はかかりますが、そのぶん手書きのほうが「採用されたい！」という意思が伝わるような気がしてるのですが…さて、どうなんでしょう？(笑)宛先の住所は当初は縦書きでしたが、印象が堅く見えたので今は横書きにしています。最後に「御中」を付ける以外はそのままです。内容は【アーティスト名】の【曲名】の〇分〇秒 くらいが【空耳】と聴こえます。と書くのが私の場合定番です。その下に住所・氏名を書き添えますが、数年前からここだけはハンコにしてみました。曲名の下の部分に細いペンで収録アルバム名を書くようにしていますが、これをしたのは2年くらい前からです。※当初は「見づらい」という理由から書きませんでした。書いたほうが採用する側は楽だろうという考えから書き添えることに。しかし英詞はどうしても見づらくなるように思い、今も書き添えていません。数色のカラーペンをアンダーライン等に使っています。うるさくない程度で、しかし目立つように、ということをお心がけています。

● たまに聞かれる質問ですが、日本人アーティスト作品の投稿ってOKですよ？

小野リサさんや宇多田ヒカルさんの作品を送ったことがあります。(小野リサさんの作品は採用されました)過去にも日本人アーティストの採用例もあるので当然OKだと思いますが、日本人が日本語で歌ってる曲の空耳は送った経験がありません。

● 空耳映像への希望や演出等を書くことはありますか？

演出はほぼ書きません。(よほど「こうしてほしい」とか、それに合う有名人の出演が理想的な場合等以外は)映像についてはスタッフのみなさんに任せたいと思うので。たまにこちらの意図と違う形になったり言葉を変えられることもあります(笑)それも含めて空耳アワードならではの魅力だと考えています。そのうち自信作では絵コンテを送ってみたいとは思っていますが、つついふつうに送ってしまってますね。(まだ絵コンテを送ったことはありません)

● これもよくある質問なんです、投稿から採用までどのくらいかかるものなんでしょうか？

投稿してから採用までは私の場合は短くときで1ヶ月弱(25日くらい?)、遅くときで半年強といった感じでしたが、だいたい平均して1ヵ月半~3ヶ月くらいが多かったです。あと、投稿ペースはほぼ一定なのに過去の採用にはなぜか多少のバラツキがあるようです。★よく採用される月:9月(10回)、2月(7回)★あまり採用されない月:11月・12月(各1回)よく採用されてる月より1ヵ月半~3ヶ月前が狙い目(応募数が減るときとか)なのかな?とも思いますが…実際どうなのかわかりません。賞品はすぐ届くこともあれば多少かかることもあるようですが、おおむね1~2ヵ月後くらいには届きます。(ある時期ごとに区切って発送しているようです)ちなみにテレビ朝日さんからではなく、製作会社のハウフルズさんから届きます。

● 半年経っても届かなかったんで心配になってテレ朝に問い合わせたことがあります

私もそういったケースを聞いたことがあります。連絡したら「うっかり発送し忘れてた」ようで、すぐに送ってもらったそうです。私の場合はそういう経験はないんですが、そういうときは問い合わせたほうが良さそうですね。(^^;

● なるほど。さすが『流浪の番組』ですね。詳しいご説明ありがとうございます。みなさん採用されても焦らず騒がず1~2ヵ月心待ちに待つことにしましょう。話は尽きませんが、そろそろ時間となりましたので今回はこのあたりで終了としましょう。今回の対談ありがとうございました。凄く楽しかったですよ。また機会があれば宜しくお願いします!

いえいえ、こちらこそ!所長さんもぜひ投稿復活されてみては?これからもどんどん空耳が盛り上がるように、お互い頑張っていきましょう。(^^)本日はありがとうございました~!

【高橋力さんの簡単なプロフィール】

- ・タモリ倶楽部「空耳アワード」歴代採用件数1位
- ・「空耳アワード2004」の企画で自宅訪問。空耳投稿の極意をTV初公開。
- ・「空耳アワード2007」空耳10大ニュースで第8位にランクイン。年賀状が紹介される。
- ・ジンギスカン/めざせモスクワの空耳、「息子息子 大事な一寸法師 無くしたら大変よ ハッハッハッハッハ」採用で、空前の“もすかうブーム”が発生。
- ・空耳アワード研究所:名誉研究員

(おわり)